



## 名護市ハザードマップ(古我知区)

津波の恐れがある時には海岸からできるだけ遠く、できるだけ高い場所へ避難しましょう。



凡例

- 津波避難場所
- 土砂災害危険箇所
- 土砂災害警戒区域
- 国道
- 県道
- 信号機
- 市町村界
- 大字界
- 公共機関
- 教育
- 買物
- GS

## 呉我区津波避難目標地点(3m) ⑤

### 我部祖河

古我知公民館(8m)

我部祖河公民館(3m) ②

我部祖河之御嶽(31m) ③

内原公民館(10m) ①

沖縄共同ガス

J.A. 河内SS

J.A. おきなわ 生活事業本部

J.A. おきなわ GPセンター

津波避難場所	海抜 m
① 内原公民館	10m
② 我部祖河公民館	3m
③ 我部祖河之御嶽	31m
④ 稲田小学校	4m
⑤ 呉我区津波避難目標地点	3m

0

伊差川

### 古我知

### 名護

農業研究センター 名護支所

## ハザードマップの使い方

### ① ハザードマップの見方

ハザードマップでは、津波浸水場所と水深予測を色分けして表示しています。浸水の目安は下記を参照してください。また、地図内の赤枠で表記されているエリアは土砂災害危険箇所、緑枠で表記されているエリアは土砂災害警戒区域を示しています。現在お住まいの周辺で予測される災害状況を踏まえ、安全な避難場所までのルートの選定にご利用ください。

\*高潮ハザードマップは浸水深の色分けが津波ハザードマップとは違いますのでご注意ください。

浸水深：0.3~1m  
浸水行動がされなく（動かこな）ない。  
1.0m

浸水深：1~2m  
津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が死んでしまう。

浸水深：2~5m  
水没するほどの人が多くなる。

② 避難場所を確認しましょう

それぞれ災害の種別を考慮し、悪天候時や、夜間の視界が悪いことを想定して家族全員で避難場所を確認してください。

③ 避難ルートを地図に記入しましょう

災害の種別による避難場所までの安全なルートを、背面の地図に記入しておきましょう。

家族全員の目の届く所に貼り出しておくことにより、いつでも確認ができる。

④ 避難時の持ち出し品をチェックしましょう

避難時の持ち物チェックリストをもとに事前に準備をしておきましょう。緊急時にすぐに持ち出せるように玄関付近など、保管場所も工夫してみましょう。

避難時の持ち出し品

□ 非常用飲料水  
□ 食料(カップ麺・缶詰・乾パン等)  
□ 貴重品(現金・酒類・印鑑等)  
□ 携帯電灯(予備電池)  
□ 携帯ラジオ(予備電池)

□ 救急用品(包帯・三角巾・消毒液等)  
□ 識用具(鉛筆・ノート等)  
□ 衣類(シャツ・パンツ等)  
□ 車手(厚手の手袋)  
□ マッチやライター

□ 小さい子供がいる家庭は(母乳・ミルク・はるひん)  
□ 小さい子供がいる家庭は(おむつ・ウェットティッシュ)  
□ その他の備蓄品

□ その他の備蓄品